

竜巻から身を守る安全対策

☆竜巻の発生を確認したら—身を守るための行動—



大きなガラス窓の下や周囲は大変危険！！

☆竜巻に備えて普段から心がけておくことは

- 身の回り（学校や家など）の屋内外の避難場所・避難方法を考えておきましょう。
- ガラスの飛散防止フィルムを貼ることなども有効です。
- 竜巻注意情報等、気象状況の情報の入手手段を調べておきましょう。

☆学校における安全対策

- 座布団や防災頭巾（なければランドセル等代わるもの）等、頭を守る物を準備しましょう。
- 窓のない安全な場所を事前に確認しておきましょう。

《例》

- 児童たちは先生の指示に従い、座布団等で頭を守りつつ、窓のない安全な場所（教室の中央等）で身をかがめて待機しましょう。
- 先生たちは教室や廊下の窓のカーテンを全て閉め、窓ガラスが割れた際に、児童への影響を最小限に抑えるよう行動しましょう。

竜巻とはどのようなものか

☆積乱雲が近づいてくる前兆を見逃さないで

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

☆竜巻の特徴

- 真っ黒い雲の底がろうと状に垂れ下がる。
- 物やごみなどが巻き上げられ、飛んでいる。
- 「ゴー」という音がする。
- （気圧変化により）耳に異常を感じる。

